



## 教職員の働き方について意見交換会を行いました！

令和4年4月26日(火)に、第1回教職員の働き方について意見交換会を行いました。学校改革推進課の上野正直、山本ちはる両教育審議員を中心に、今年度学校現場から教育委員会事務局へ異動してきた指導主事及び事務職員で、教職員の働き方について現場の状況を情報共有しながら考える会となりました。少しでも、先生方の働き方改革が進むよう『今からできることはないか』という視点で意見を出し合いました。

- ・中学校では、特に部活動改革に早急に取り組むことが必要。
  - ・学級担任の先生でも、年休を取りやすい体制づくりができないか。
  - ・小学校でも、担任がいなくても授業が進められる環境を整えられないか。
  - ・学年でのチーム担任制などの導入によって、カバーリングし合うことができた。
  - ・勤務時間(特に朝の時間)の調整ができないか。
  - ・留守番電話の切り替えを自動にできないか。
  - ・通知表が年2回になったことで、随分楽になった。
  - ・要録が簡略化され、年度末の業務がスムーズに進められた。
- というように、課題だと感じられる意見が多くありましたが、留守番電話の導入や通知表・指導要録の簡略化など、実際に取り組まれていることの効果も出されていました。



## 教育審議員からのメッセージ

本年度学校改革推進課に着任した二人の教育審議員より



山本 ちはる  
教育審議員

学校の働き方改革の目的には、先生たちが自分の職に自信と誇りをもつ！つまり、やりがい感をもって生活を豊かにすることも挙げられます。そのことは私たちの後継者育成にも響く重要なことだと考えます。学校でできる改革！教育委員会でしかできない改革！今できること、将来に向けて進めていかなければならないこと等に、現場の先生方のご意見をいただきながら精一杯務めさせていただきます。よろしくお願いします。

4月から給料が1割強減り、クタクラしました。職種が変わり、仕方ないのですが、給料も労働条件の重要な一つです。次代の職員のためにも、どうにかならないかと思っています。一方、現在、仕事にやりがいを感じている自分があります。学校改革の本丸は「学びの進化」を図ること、学校に関わる皆さんが「こうなったらいいなあ」という学校創りに携わりたいと改革を進めています。そして、働き方改革。改革の大切な視点は「タイムマネジメント」と「ストレスマネジメント」のバランスと考えます。キャリアや年代に応じて、働き方の悩みはそれぞれです。「Well-being」。幸せで健康な学びの環境づくりに思いを巡らしています。



上野 正直  
教育審議員

令和3年度の実績を集計しました。「第2期学校改革！教職員の時間創造プログラム」の

目標1 在校時間が1か月45時間を超える教職員数0人

目標2 在校時間が1年間360時間を超える教職員の数0人

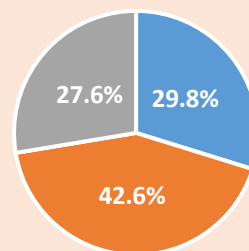
目標3 教職員1人あたりの年休の年間平均取得日数16日以上

を既に達成している学校もありました。集計結果やそれぞれの学校・個人で取り組まれている事例などを、今後紹介していきます。

## ニュースレターについて

2月に行った「教職員の勤務実態等に関するアンケート」の中に、ニュースレターについての質問がありました。

ニュースレターについて知っていますか。



- 知っているし、読んでいます
- 名前は知っている
- 知らない

上記のように、3割の先生方が読んでいますと回答していただきました。

今年度も、ニュースレターを定期的に発行します。先生方の働き方改革のヒントになるような情報を提供していきます。先生方が楽しんで読んでいただけるよう、工夫していきますので、よろしくお願いいたします。

